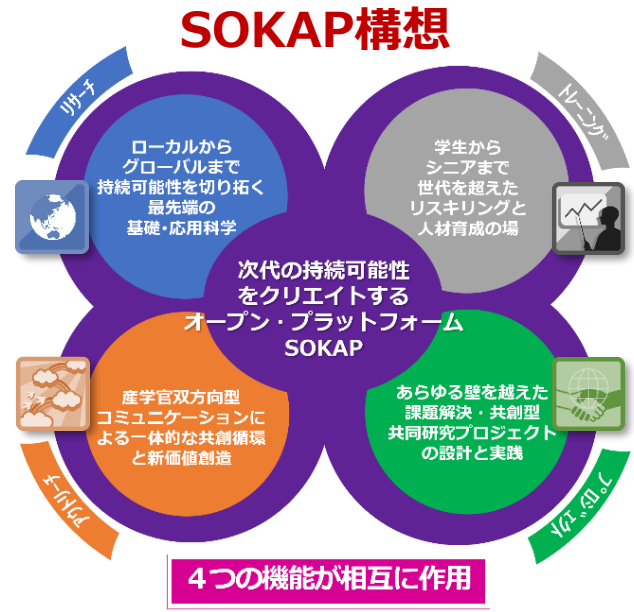
大学名	東北大学

第69号 **特集テーマ「国立大学のこれから」**

表題	総合知を行動につなげ持続可能な社会の実現へ　～“SOKAP”構想の始動～

SOKAPの概要

東北大学では、持続可能な社会の実現に向けて「Transdisciplinary」により**最先端の知を迅速にアクションに繋げる知識行動オープン・プラットフォーム「SOKAP（ソカップ）」**（＝**S**ustainability **O**pen **K**nowledge-**A**ction **P**latform）を形成するべく、未来を豊かにするためのイニシアティブを開始した。
本プラットフォームでは、**多様なステークホルダーと共創し、最先端研究の推進（リサーチ）や世代を超えた人材育成（トレーニング）、共同プロジェクト等を通じた価値創造（プロジェクト、アウトリーチ）といった機能を相互に作用**させることで、「社会とともにある大学」としての新たな価値創造を進める。



期待される成果

エネルギー、気候変動など様々な社会課題の解決に向けて、「総合知」をベースとした多様なステークホルダーとの共創が求められる中、計画段階から社会実装までマルチアクターで協働する必要性が高まっており、世界の価値創造の様式が大きく変わりつつある。こうした潮流の中、**本オープン・プラットフォームの形成によって、東北大学の知を社会とともに活用し、持続可能な社会の実現や人類の幸福に貢献**する。

取組事例

SOKAP構想の始動に伴い**新たな共創推進プログラム「SOKAP- Connect（ソカップ-コネクト）」**（＝Sustainability Open-Knowledge-Action Program by Connecting Multi-stakeholder）を創設。研究者、学生、民間企業、自治体など**多様なステークホルダーによりグループを構成**し、研究成果を迅速にアクションへ繋げる４つのプロジェクトを展開している。
そのうちの一つである**バイオマス資源としての“コメ糠”に着目したプロジェクト**では、市民の参画も得て供給網を確立した上で、技術開発はもとより、経済性やシステム設計からなる総合知を駆使し、“コメ糠”が持つ潜在価値を活かしたものづくりの具現化に挑む。（右図参照）

コメを基盤に多種多様な産業製品を創出するべく農家や市民と共創するバリューチェーンを確立

キックオフシンポジウム（東京）開催！

日時
2023年11月6日（月）
13：30～17：05

場所
室町三井ホール＆
カンファレンス
(COREDO室町テラス3階)

申込
QRコード受付

専用サイト受付
https://e-ve.event-form.jp/event/57016/sokap1106